

授業科目名	現代教育学		授業形態	講義
英語科目名	Contemporary education		開講学期	後期
対象学年	1		単位数	2
科目責任者	牛尾 直行		ナンバリング	7009
科目担当者				
牛尾 直行				
授業の概要				
<p>教育学は、教育の思想、目的、制度、内容、方法、計画などを明らかにする学問である。本科目は、教育問題を考えていくための基礎力の強化につながる課題を考える。講義とグループワーク形式で、教育・学校の意味と意義、社会的機能、教育の諸制度、近現代教育の内容と方法、現代日本の教育問題、教育改革の動向、などについて様々なトピックを調べ、討論しながら学んでいく。</p> <p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p>				
授業の達成目標				
<p>現代の教育にはどのような課題があるのか、どのような教育活動と仕組みになっているのか、教職に就く者の基礎的教養と学校教育についての自己の考え方を確立していくための力を育成することを目標とする。また、現代の様々な教育課題に対する理解を深めることも目標とする。</p>				
成績評価方法				
定期試験（50%）、レポートや学習への取り組み（50%）によって総合的に評価する。				
履修上の注意（受講条件・受講に当たって学生に望むこと）				
<p>教職課程の履修者にとって、その学修を進めていく上で、基礎となる知識や問題意識を涵養する科目の一つである。受講のためには、毎回の授業の予習と復習に確実に取り組み、積極的な態度で本科目に臨んで欲しい。</p> <p>※高一種免（英語）取得を希望する学生は、当該科目を必修とする。</p>				
テキスト・参考書				
<p>《テキスト》</p> <p>特に指定しません。受講に必要な資料は、その都度配布したり、URLを指定します。</p> <p>《参考書・参考資料等》</p> <p>購入することを義務とはしませんが、以下の書籍を備えておくことが望ましい。</p> <p>樋口直宏・牛尾直行編著、実践に活かす教育基礎論・教職論、学事出版、2010年</p>				
オフィスアワー				
後期金曜のお昼休み、4限終了後に教室で声をかけて下さい。牛尾メールアドレスはn-ushio@juntendo.ac.jpです。				
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法				
授業内で適宜返却する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等（予習、復習レポート等課題の指示）	
1	牛尾 直行	<p>ガイダンス・現代の教育課題とは？</p> <p>（本授業の目標、受講に関する注意事項など、現代の教育課題についてのディスカッション）</p>	<p>【予習】シラバスを読み、講義概要を把握しておく。（2時間）</p> <p>【復習】自らのグループが取り上げた教育課題について調べる。（2時間）</p>	
2	牛尾 直行	<p>現代日本で求められている学力とは</p> <p>（従来までの学力、現代日本で求められている学力、学習指導要領の変遷、それを学校でいかに育むかディスカッション、試験制度の変容）</p>	<p>【予習】今必要とされる学力とは？を調べ考えてくる（2時間）</p> <p>【復習】自らが培ってきた学力をいかに活用するかをまとめる。（2時間）</p>	
3	牛尾 直行	<p>特別の教科道徳と現代の若者</p> <p>（道徳の教科化が求められる要</p>	<p>【予習】道徳とは何か？自分はどのように道徳の心を培ってきたか考える。（2時間）</p>	

		因、道徳は教授・評価できるか、学校教育の中で道徳はどうあるべきか)	【復習】これからの道徳の在り方についてレポート作成。(2時間)
4	牛尾 直行	いのちの教育について考える (いのちの教育とは、予習課題についての振り返りGW、『いのちをいただく』、現代の子どもの発達といのち、自尊感情)	【予習】指定したWEB上映像を視聴する。(2時間) 【復習】」いのちの教育の授業例を作成。(2時間)
5	牛尾 直行	小学校の英語教育 (自らが受けた英語教育について、小学校での英語の教科化、早期の英語教育、国際化とは?)	【予習】小学校での英語教育についてのニュースを調べる(2時間) 【復習】小学校英語教育の課題を各自設定し、まとめる(2時間)
6	牛尾 直行	アクティブ・ラーニングとは? (学習指導要領の改訂、様々なALのかたち、英語科での実践、AL授業の課題)	【予習】課題プリントを前週に配布するので読んでくる(2時間) 【復習】AL授業案の作成(2時間)
7	牛尾 直行	いじめの無い学校をいかに実現するか? (いじめの定義、いじめ対策基本法、いじめの実際、学級と人間関係、子どもの人権)	【予習】「スクール・カースト」の語について調べてくる。(2時間) 【復習】いじめについてのレポート作成(2時間)
8	牛尾 直行	学級崩壊とその対応 (学級とは、学級王国、現代の子どもの荒れ、教職員の定数、対応についてのディスカッション、モンスターペアレント)	【予習】指定したWEB上映像を視聴する。(2時間) 【復習】「自分は教師として何ができるか」のレポート作成。(2時間)
9	牛尾 直行	児童虐待に教師は何かができるか? (児童虐待の定義・現状、新聞記事から考える、教師の役割、様々な事情を持つ子どもへの配慮)	【予習】児童虐待についての漫画を読んでくる。(2時間) 【復習】児童虐待についての新聞記事を各自見つけ、レポート作成。(2時間)
10	牛尾 直行	教師の精神性疾患による休職と協働 (教師の休職の増加、バーンアウト、なぜ教師は精神的に病むのか、同僚・地域との繋がり、ソーシャルスキル、チーム学校)	【予習】教師のバーンアウトについて調べてくる。(2時間) 【復習】現代日本の教師に求められる働き方についてレポート作成。(2時間)
11	牛尾 直行	現代日本の学校と特別支援教育 (学習障害、ADHD、広汎性発達障害、障害児教育から特別支援教育へ、インクルーシブ教育、合理的配慮とは?)	【予習】指定したWEB上映像を視聴する。(2時間) 【復習】インクルーシブ教育についてレポート作成。(60分)
12	牛尾 直行	生徒の性の多様性について理解する (LGBTとは、現代日本の学校における性的マイノリティ、教師によるLGBTへの支援、求められる性教育とは?)	【予習】WEB上の報告書を読む。(2時間) 【復習】LGBTについてのWEBニュースについてレポート作成。(2時間)
13	牛尾 直行	不登校の問題から現代日本の学校の課題を考える (不登校数の高止まり、不登校の原因、登校を渋る生徒への支援、その問題の背景・課題についてのディスカッション、学校・家庭・	【予習】不登校とは何か調べてくる。(2時間) 【復習】不登校児への支援として学校・家庭・地域は何かできるかレポート作成。(2時間)

授業科目名	公共と道徳		授業形態	講義
英語科目名	Society and Ethics		開講学期	後期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	梶川 萌		ナンバリング	3220
科目担当者				
梶川 萌				
授業の概要				
<p>本講義は「公共」と「道徳」の本質を問い直し、そのうえで特に学校教育の観点からこれらの関わりについて展望を与えることを目指す。今日、社会経済的なネットワークが国家を超えて拡大すると同時に、国内あるいは国家間での経済的格差や分断が深刻化しつつある。こうした状況にあって、「公共」の意味と意義とは何かという、根本的な問いに向き合うことは不可欠であるとともに、「道徳」の成立基盤も問い直される必要がある。本講義では以上のような原理的な問いに立ち返りつつ、今後の「公共」および多文化共生社会のあり方を問うべく、「公共」についての多様な理論を概説する。そのうえで、今日的な「公共」と「道徳」の接点を理解するための問題領域を提示し、履修者自らが考えを深めるとともに、教員として道徳教育に携わる際の基本的知識の習得を目指す。</p> <p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>				
授業の達成目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「公共」と「道徳」の本質を理解し、これらの関わりについて理論的に説明できる。 ・ 「公共」と「道徳」についての自らの見解を、論拠をあげて表現することができる。 ・ 教育と「公共」および「道徳」の具体的な関わりとして、学習指導要領に示された公民科の必修科目「公共」の概要、および、高校での道徳教育の方針を把握している。 				
成績評価方法				
<p>1 成績評価方法：授業内のコメントシート（30%）定期試験（70%）によって評価する。</p> <p>2 成績評価基準：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「公共性」についての思考の深化と展開を、コメントシートで整理し表現することができるか。 ・ 「公共」と「道徳」、およびこれらの関係について、定期試験で自らの考えを論理的に構築し表現することができるか。 ・ 教育、特に学校教育と「公共」および「道徳」の関係について、多角的に理解しているか。 <p>※以上のほか、全授業の3分の2以上の出席がない場合、定期試験の受験資格を喪失することに注意してください。</p>				
履修上の注意（受講条件・受講に当たって学生に望むこと）				
特になし。				
テキスト・参考書				
<p>テキスト：特に指定せず、授業内で随時プリントを配布する。</p> <p>参考書：授業内で適宜案内する。</p>				
オフィスアワー				
質問等は、授業の前後、および電子メール（m.kajikawa.uz@juntendo.ac.jp）で随時受け付ける。				
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法				
コメントシートには授業内で随時応答する。期末課題についてはJUNTENDO-PASSPORTのクロスプロファイル機能を使用してフィードバックを行う。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等（予習、復習レポート等課題の指示）	
1	梶川 萌	<p>初回ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の進め方と評価について説明 ・ 「公共」の意味をグループディスカッション等で検討 	<p>予習：「公共」という概念について、履修者自身がこれまでどのようなものと捉えてきたかを振り返る。（30分）</p> <p>復習：授業をもとに「公共」と「社会」の異同について考える。（90分）</p>	

		・「公共」と「国家」「社会」の違いを考察	
2	梶川 萌	なぜ「公共」を考えるのか ・「公共圏」「親密圏」の関係 ・個人と社会の関係 ・「公共」と「道徳」の関わりについての展望	予習：現代の社会にはどのような課題があるか、またその当事者や責任者は誰なのかを、自分の見聞きするニュースや関心事を中心に考え、問題圏の広がりについてのイメージを持つ。(90分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)
3	梶川 萌	公共と道徳の理論①：公衆には希望があるか ・「公共哲学」の登場 ・リップマンの「公衆」批判を確認 ・デューイの「公衆」論を確認 ・個人と社会の関係を検討	予習：デューイとリップマンの人物について調べる。(60分) マスメディアやSNSなど、今日世論がいかに形成されているかを考える。(30分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)
4	梶川 萌	公共と道徳の理論②：結社は公共性の礎となるか ・「自発的結社」について説明 ・アレントの「自発的結社」への注目を説明 ・アメリカ入植期の植民地メンバーシップを概説	予習：アレントの時代と人物について調べる。(60分) 「結社」とは何か、自分がその一員であるか、考える。(30分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)
5	梶川 萌	公共と道徳の理論③：少数の卓越者か、多数者か ・プラトンによる哲人政治を紹介 ・デモクラシーの基本原則を確認 ・公共性と統治の関わりを検討	予習：プラトンの時代や社会制度、人物について調べる。(90分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)
6	梶川 萌	公共と道徳の理論④：公共の問題をいかに扱うか？ ・多数決の原理 ・ハーバーマスの「熟議デモクラシー」論を説明 ・「言説の資源」という考え方	予習：ハーバーマスの時代や人物について調べる。(90分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)
7	梶川 萌	公共と道徳の理論⑤：問題はいかに公共の問題になるか ・「親密圏」の問題に公共性はあるか ・「合意」しえなさを直視する「闘技民主主義」 ・公共の範囲と道徳を更新する方法を検討	予習：話し合い・合意をめざす民主主義の難しさについて考える。(30分) シャンタル・ムフについて調べる。(60分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)
8	梶川 萌	公共と道徳の理論の整理 ・第7講までの授業で扱った理論の論点と提案を整理 ・それぞれの提案の利点と課題を確認 * 期末課題について予告、説明	予習：第7講までの授業で扱った理論について、自分の考えと近いもの・遠いもの、これまで馴染みのあったもの・なかったものはどれか、考えをまとめる。(90分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)
9	梶川 萌	現代の公共的トピック①：ジェンダーの公共性 ・アイデンティティ・ポリティクスの登場について説明 ・近年の「ジェンダー」論の確認 ・トピックを論理的に検討するグループワーク	予習：経験や近年の事例をもとに、自身や社会のジェンダー観について考えをまとめる。(90分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)
10	梶川 萌	現代の公共的トピック②：自然環境の公共性 ・環境問題の構造を確認 ・「持続可能性」の思想を概説 ・トピックを論理的に検討するグループワーク	予習：経験や近年の事例をもとに、自然環境と人間社会の関わりについて考えをまとめる。(90分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)
11	梶川 萌	現代の公共的トピック③：技術の公共性 ・科学技術のもたらす結末に対す	予習：経験や近年の事例をもとに、科学技術の発展が社会にもたらす影響について考えをまとめる。(90分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)

